

あかつきの子宣言

暁小学校に通う皆さんが、お互いに思いやり、助け合い

一日、一日を大切に、

みんなが気持ちよく、楽しくすくすくするための

心がけや行動を示します。

人間たれ」

人を愛し、学問を愛し、

美を愛する豊かな児童

保護者様用



一、人を敬い、仲良くする子ども

自分の周りにいる人を大切にしましょう。

誰とでも仲良くしましょう。

自分の周りにいる人と同じように自分も大切にしましょう。

保護者の皆様へ

学校には、いろいろな個性を持った子供たちが通っています。自分とは違う考え方、行動をする友達と集団生活をする中で、子どもたちは、社会性を身につけていきます。相手の個性を認め、自分と違うからという理由で他者を排除することなく、違う考え方を受け入れながら生活できる児童になってほしいと思います。

また、違う相手を受け入れる事は、自分に余裕がないとできません。その為には、自分をまず認められる事。自尊感情を持つことが大切です。自分も友達も大切にし、たくさんの友達と仲良くできる子どもになるように、育てていきたいと考えます。



二、深く考え正しく行う子ども

- ・ 何かする時は、じっくり考えてから行動しましょう。
- ・ どのように行動してよいか分からない時は、周りの人に聞きましょう。
- ・ だれにでも間違っているとはあります。うまくいなくても、次に活かせるようにしましょう。

保護者の皆様へ

初めはできなかったことでも、何度も繰り返し行うことで、できるようになっていきます。何か行動に移す時には、後の結果を予測して、一度よく考えてから行動に移す必要があります。

失敗は成功のもと」といわれます。子ども達が成長する時には、何度も乗り越えなければならぬ壁があります。失敗したり、間違ったりしても構わないのです。その失敗や間違いから学んだことを次に活かせばよいのです。失敗から学んだことを糧にして、次につなげていくことが大切であり、その繰り返しで人は成長し、正しく振る舞えるようになっていくのだと思います。

もし、自分で考えても分からない時は、自分の周りにいる人に聞いてみることも必要です。そして、教えてもらったことを自分で、もう一度しっかりと考えてから行動する習慣をつけることが子ども達の成長につながります。

私たちは、子ども達が行動する際に、その様子を温かく見守ると共に、あなただなら、できるよ！」と背中を押す温かい言葉がけをし、子どもたちが、ひよっとしたらできるかも……」と自信をもてるように、育てていきたいと考えます。



三、自ら進んでつとめを果たす子ども

・ 係活動や当番など、自分の役割を一生懸命果たしましょう。

・ 人に言われてするのではなく、自分から進んでできるようになりましょう。

・ 自分のため「だけ」ではなく、人のため「を」思っていて行動しましょう。

保護者の皆様へ

学校生活においても、家庭においても、子ども達は、それぞれの役割といつものが必要あります。進んでやるのが人の上、真似してやるのが人の中、言われてやるのが人の下」と言われるように、その役割を人に言われて初めてやる「上」と、自ら進んでやる「中」とでは、その行動の意味合いが全く違ってきます。また、係や当番などの自分の役割を頑張る「中」は、自分のため「だけ」ではなく、周りの人のため「にも」繋がります。自らの強い意志で行動を起させる子どもを育てていきたいと考えます。



四、よく働き むだを省く子ども

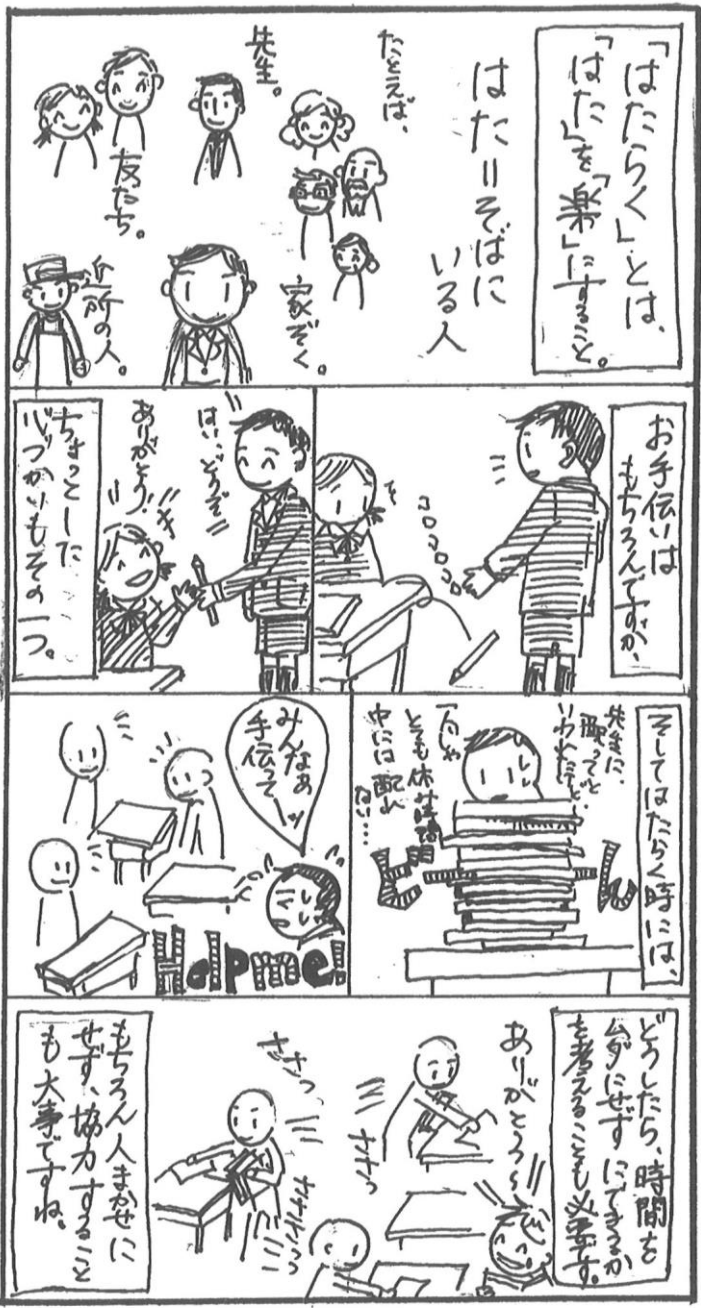
- ・ 何事にも積極的に集中して取り組みましょう。
- ・ 時間を大切に使いましょう。
- ・ 周りの人のためになることをしましょう。

保護者の皆様へ

働く』という言葉の語源は「傍(はた)を楽にする」だといわれています。傍(はた)というのは周りの人のことです。周りの人の負担を軽くする、楽にするというのが元々の働くの意味です。

限られた時間で活動をするときに、いかに効率よく活動するかを考え、行動する習慣を身に着けることも大切なことです。また、「こんなことをしても無駄」と考えるのではなく、自分の今していることには必ず意味があり、無駄と思う気持ちを省くことも、同じく大切です。

自分のためだけでなく、周りの人のためになることを考え、働くことができる子ども。また、時間を大切にし、効率よく行動することができるとも育てていきたいと考えます。



五、いつも明るく元気な子ども

- ・ 気持ちのよい挨拶を心がけましょう。
- ・ 毎日、体を動かすようにしましょう。
- ・ 早寝早起きを心がけましょう。
- ・ 好き嫌いせず、バランスよく食べましょう。
- ・ うがい、手洗いをしましょう。
- ・ 身のまわりを清潔にしておきましょう。

保護者の皆様へ

子どもたちの学校生活は、朝の挨拶から始まります。挨拶を元気よく行うことで、自分の気持ちが明るくなり、よい一日のスタートとなります。また、挨拶は相手に対する気づかいでもあり、あなたの存在を大切に思っていますよ。」という意思の表れでもあります。笑顔いっぱい、挨拶いっぱいの学校を、子どもたちとつくっていきたいと思います。

子ども達が、いつも明るく元気に過ごすためには、心身共に健康である必要があります。体の健康を保つためには、運動・栄養・休養の三原則に加え、体の清潔を保ち、身の周りの環境を整えることも必要であると考えています。そのために、子ども達には、よく遊び、よく食べ、夜更かししないことを、また、ハンカチ・ティッシュをきちんと用意し、外から帰ってきた時は、うがい・手洗いを励行するように指導して参ります。

また、心の健康を保つためには、不安や悩みと向き合い、先生や友達との関わり合いの中で乗り越え、対処していく力を身につけていく必要があります。そのためには、円滑な人間関係の構築、「ミニミニケーション」能力の育成が必要であると考えています。先に述べた挨拶だけでなく、言葉と態度を整えることで、親しき仲にも礼儀ありの円滑な「ミニミニケーション」がとれるよう、育てていきたいと考えています。

